

今週（7月31日から8月4日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、7月28日の金融政策決定会合において決定された、長短金利操作の運用柔軟化に対する大きな影響は見られず、レートは引き続き低位での推移となった。

無担保コールO/N物は、週初31日(月)は、▲0.06%前後での出会いが中心となったが、その後は、日を追う毎にビッドサイドの参加者が減少したため、出会い水準も低下する展開となった。週末となった4日(金)も、3日積み要因の影響はほぼ見られず、▲0.085～▲0.07%近辺での出会いが中心となった。

ターム物は、ショートターム物を中心に▲0.065～▲0.045%近辺の水準で引き合いが見られた。

日銀当座預金残高は、542兆円台から始まったが、税揚げや国債の発行により減少し、週後半には、535兆円前後での推移となった。

●レポ市場

今週のO/N GCは、▲0.105～▲0.09%のレンジでの取引となった。足元GCは国債買入の輪番オペや臨時オペが意識されてか、ややしっかりとした推移となった。

SCはカレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、閑散なマーケットとなり、全ゾーンで横ばい圏での推移となった。

7月31日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でオファーされ、按分利回較差+0.009%、平均利回較差+0.010%と、やや弱めの結果となった。

8月4日に実施された3M物の入札は、按分落札利回り▲0.0962%、平均落札利回り▲0.1014%と、無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、一部の業態からまとまった発行が見られたものの、月初にあたり、発行が少なく閑散とした週となった。

週間の発行総額3,300億円程度に対して、償還総額は2,200億円程度となり、発行超のマーケットとなった。市場残高は7月末に28兆円弱となり、前月末比で+4兆4,500億円程度的大幅増加となった。その後も高水準での推移が続き、足元では28兆円台前半で推移している。

発行レートは、前週の金融政策決定会合の結果に対する目立った影響は見られておらず、引き続き日銀適格担保銘柄の3M以内の案件については0%近辺での出会いが中心となり、期間が長い案件についてはレート水準にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
7/31（月）	33,172.22	0.600	140.92	△ 0.061	△ 0.096	5,428,100
8/1（火）	33,476.58	0.590	142.75	△ 0.063	△ 0.095	5,408,700
8/2（水）	32,707.69	0.625	143.16	△ 0.070	△ 0.100	5,320,000
8/3（木）	32,159.28	0.650	143.26	△ 0.070	△ 0.101	5,342,200
8/4（金）	32,192.75	0.640	142.55	△ 0.072	△ 0.102	5,350,600

来週（8月7日から8月10日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/7 (月)	決定会合における主な意見(7月27・28日分 8:50) 7月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 6月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)				6月の米消費者信用残高
8/8 (火)	6月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 6月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 6月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 7月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	30Y 9,000億円 8/9発行			6月の米貿易収支 6月の米卸売売上高
8/9 (水)	7月のマネーストック(日銀 8:50)	TB6M 40,000億円 8/10発行	エネルギー 対策借入 6,677億円 8/21借入		
8/10 (木)	7月の企業物価指数(日銀 8:50) 6月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	TB3M 58,000億円 8/14発行			7月の米消費者物価指数 7月の米財政収支
8/11 (金)	山の日				7月の米生産者物価指数 8月のミシガン大消費者信頼感指数速報 4-6月期の英GDP速報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/7 (月)	300	3,200	3,500	CP買入 国債補完	▲ 100 34,900		34,800	38,300	TB3M発行▲58,000償還61,400
8/8 (火)	▲ 500	0	▲ 500				0	▲ 500	交付税借入▲12,000期日12,000
8/9 (水)	500	▲ 12,000	▲ 11,500				0	▲ 11,500	30Y発行▲9,000
8/10 (木)	▲ 1,000	13,000	12,000				0	12,000	TB6M発行▲40,000償還45,000
8/11 (金)	山の日								
週 間 合 計	▲ 700	4,200	3,500	—	34,800	0	34,800	38,300	

8/7は日銀予想、8/8以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積み期終盤となるが、引き続き資金調達意欲の弱い展開が見込まれ、無担保コールO/N物は▲0.07%前後での推移が予想される。債券レボ GC T/N物は、▲0.15～▲0.08%のレンジでの推移が予想される。短期市場は、9日に6M物、10日に3M物の入札実施が予定されている。また、8日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、9日にCP等買入オペが予定されており、結果が注目される。

主要なイベントは、国内では8日に6月の国際収支、10日に7月の企業物価指数、海外では、10日に7月の米消費者物価指数、11日に4-6月期の英GDP速報値などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入